



凡玉

ライオンズクラブ国際協会
336-A地区 高松キャビネット事務局

We Serve

4.5.6 No.4

2022年 第118号

令和4年6月25日発行



2021～2022 年度
336-A地区ガバナー

蔵本 守雄

ガバナースローガン
**命燃やして恋せよ
ライオンズに**

ガバナーキーワード

Overcome



2021～2022 年度
ライオンズクラブ国際協会会長

ダグラス X. アレキサンダー

国際会長スローガン

We Serve
(我々は奉仕する)

国際会長メッセージ

Service from the Heart
(心からの奉仕)



INDEX

表紙 2 国際会長・336-A地区ガバナー スローガン

ガバナー・地区役員 一年の活動を振り返って

- 1 ライオンズクラブの将来について
- 2 地区年次大会 in 高松
- 4 ガバナーエレクト/ガバナー/コーディネーター
- 8 336-A地区キャビネット幹事/会計
- 9 リジョン・チェアパーソン
- 11 河川敷・海岸線・ビーチの砂浜清掃活動
- 12 ゾーン・チェアパーソン
- 19 常設委員会

アクティビティ

- 22 『ヘッドネーション活動』を通して我々ができる事
- 23 九島周回道路、海岸清掃作業
- 24 徳島駅前「LED観光客歓迎塔」を設置

情報

- 24 声を合わせて「ダメ、ゼッタイ」
- 25 骨髄バンクに感謝
- 26 高校生ボランティア
- 28 336-A地区会員現況
- 29 物故会員



ライオンズクラブの将来について

ライオンズクラブ国際協会336-A 地区ガバナー

蔵本 守雄

一年間キャビネットをスタッフと共に運営してきた感想を述べます。約一年半以上、運営に協力してくださって、活動いただきました皆様に感謝いたします。

また、地区年次大会をほぼフルスケールでの開催を企画、実行なさってくださいました4リジョンの皆様には感謝申し上げます。ライオンズクラブはアメリカ生まれの奉仕団体です。規則と民主主義の取り決めことから、成り立ち運営されています。ヒエラルキーの世界であり、そのトップを決めるのは、選ばれた人による

選挙の結果です。選挙は投票者数、すなわち選挙権を持った人の決め方に左右されます。そこには、選挙の在り方や選挙運動などの方法により、左右される要素がたくさんあります。間違うと、民主主義を謳っているが、民主主義でなく権勢主義になつてしまいます。ライオンズクラブはあくまで「友達のクラブ」です。

上に立つ人は気をつけないといけないと思います。そうでないと、ライオンズクラブは墮落の道を歩むことになりません。





ライオンズクラブ国際協会3361A

地区年次大会 in 高松

2022年4月23日(土)24日(日)

地区ガバナー 蔵本 守雄

第68回地区年次大会が、ほぼフル規格で開催されたことは、3361A地区皆さんの協力のおかげです。ほつとしています。

次大会は、疫病が流行したため挙行できませんでした。

今期は、それが下火になったとはいえ、全行程を挙行できるとは思っていませんでした。

「336の夕べ」も対面式で開催され、その上素晴らしい催しものが出来たことは良かったと思います。4月24日の、代議員総会では、次期のリーダーが選出でき、承認が出来ました。

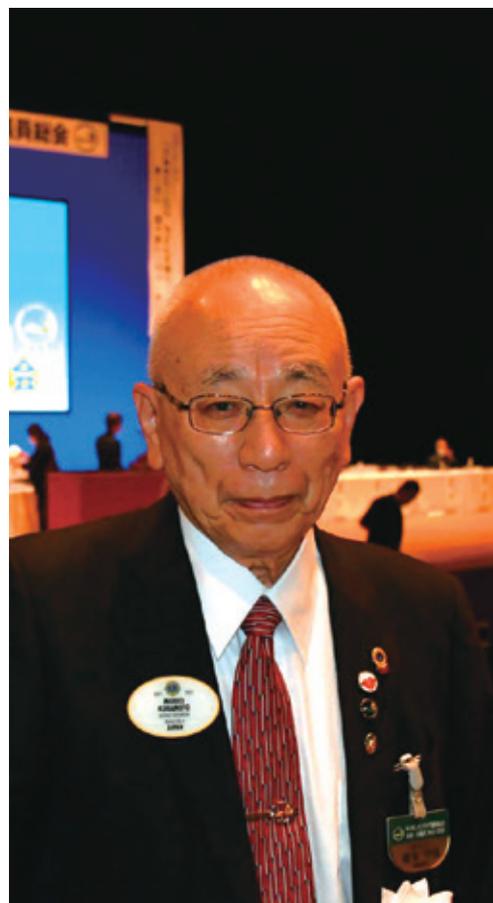
開催に尽力された4Rの各クラブ、大会委員長、キャビネット副幹事、執行理事の皆さんに深謝いたします。

大会式典では、その発表が行われ、レグザム大ホールが「うわつ」という位大勢の会員が出席して頂き、ありがとうございます。

雨のせいでパレードは出来なかつたけれど、「うどん」のサービスは良かったです。

また、香川県知事、高松市長に祝辞を頂き、ありがとうございました。

来期は3541D地区を招いて開催したいものです。





感謝を込めてウイサーブ



地区ガバナーエレクト

市村 通夫 (鴨島)

9R-2Z鴨島ライオンズの市村通夫と申します。いつも皆様には大変お世話になっております。

平素は336-A地区のライオンズクラブの活動運営に深い御理解と御協力を賜りまして改めて敬意とお礼を申し上げます。

早いもので第一副地区ガバナーをお受けして10ヶ月余りが経ちます。

蔵本ガバナーのもと勉強させてもらっています。本年コロナ禍で人々の行動や価値観は大きく変化しております。特に人とのコミュニケーション、行動に大きく影響があったと感じてお

ります。違う見方をすれば人と接し心の温かさに触れたときは心が動き、なにげないことにも深く感謝できる世の中になったと言えます。今この時だからこできる奉仕があると思います。

6月5日の次期三役オリエンテーションから始まり、名誉顧問会議、キャピネット会議、公式訪問、ガバナー協議会等いろいろな会議に出席してまいりました。特に今年にはシーハン国際第一副会長が、これからのライオンズクラブの運営に力をいれておられます。

第一副地区ガバナー研修が去る10月28日からズームで2時間半14回、濱野リーダーのもと全国35人とともに勉強してまいりました。

ピンチをピンチのままにするか、ピンチをチャンスに変えるか、コロナだから出来る奉仕があると思います。残された人生、感謝を込めてウイサーブ、不易流行で頑張る所存です。

今後ともご指導の程、よろしくお願ひいたします。
一年間ありがとうございました。
感謝を込めてウイサーブ

一年を振り返り、振り返る



第二副地区ガバナー

山崎 勝彦 (高知)

(基本方針)

今期(2021~22年)の蔵本ガバナーの基本方針は以下のとおりでした。

- 1 ガバナー声明「クラブの在り方を考えよう」
- 2 ガバナースタート「命燃やして恋せよライオンズに」
- 3 ガバナー主題「会員の健康長久とコロナに耐えるの奉仕活動」
- 4 キーワード「OVERCOME」
- 5 地区の奉仕活動「河川敷、海岸線、ビーチの砂浜清掃活動」
- 6 LCIF100ドルキャンペーンの実現

(第二副地区ガバナー担当のGLTの活動について)

GLTはGMT、GSTとともに、三つのチームが大きな輪となって、ライオンズ活動を牽引し、活性化させ、ライオンズクラブ100年の歴史を継続可能にするものです。

社会奉仕をするために、メンバーを募り、将来

を見据えたリーダーを育成する。非常にシンプルな論理で我々は100年間休むことなく歩んでまいりました。

その中でもリーダーを育成するために、各ライオンズクラブは、未来のライオンを育成することを命題として、多くのライオンズクラブが青少年育成の事業をおこなっていることは案内のとおりです。スポーツ大会、音楽会コンクール、英語スピーチコンテスト、日本語暗唱コンテスト等々広い範囲で活動をされており、こういった各事業によつて、青少年がライオンズクラブの存在を認識し、将来成年になったときにライオンズクラブの活動が理解できるだけでも大きな意味があるものと断言できます。(リーダーシップ研究会)

今期リーダーシップ研究会はひとつのリジョンを除いて、8リジョンで開催されました。

コロナ禍ではありましたが、10月から12月のコロナが若干下火になったころには、一部リアル体面での研究会が開催されましたので、後々の各種研修会の方法改善の一役を担った感が窺えました。各リジョンでは、リジョンによる合同開催など工夫を凝らして、新入会者研修会と同時にリーダーシップ研究会を開催するなど、例年とおりの開催がなされました。

(感謝)

今期は各クラブにおかれましては、コロナ禍で例年とおりの十分な活動が出来なかったことと存じます。その中でも感染防止をしていただき、活動されてこられたことに感謝申し上げます。336-A地区の皆さん一年間ありがとうございました。各クラブそれぞれ特色ある地域社会への貢献を継続されてきたことに「誇り」を感じております。



地区名誉顧問会議長就任を振り返って



前地区ガバナー

酒井 公一 (高知りょうま)

2021年7月1日より、336-A地区、地区名誉顧問会議長を拝命して早くも一年が過ぎようとしております。今期もコロナウイルス蔓延に伴い、ライオンズ活動もままならず、会員の皆様も不自由なライオンズ活動を強いられております。その一方でリモート会議等が導入されてIT活動は著しい進歩が見られました。

地区名誉顧問会議及びキャビネット会議はコロナ禍に於いても、通常通りの会議が開催されて会員の皆様のライオンズ活動に支障をきたすことがなく安堵しております。

第一回地区名誉顧問会議では前期からの積み残し議案であった、キャビネット準備事務局に対する貸付金規定の見直し他、諸規定集の整理も行われ充実したキャビネット運営が出来る運びとなり、又、次期Webチームの組織に付いても検討された。

第二回地区キャビネット会議では、前期の地区特別資金積立金会計の収支報告が行

われた。地区アラート基金増額に付いて検討されたが、地区緊急援助引当金を増額する方向となり、第三回地区名誉顧問会議に継続審議となった。諮問協議事項では、アワード申請のWeb自動集計システム導入が承認され、予算を拠出することを決定した。このシステムは各クラブのアワード申請手続きが格段に簡素化される。

第三回地区名誉顧問会議では、地区緊急援助引当金増額規定の改定案が協議されて、承認された。次年度キャビネット事務局開設に伴う、貸付金に対する規定も整備され決定した。ガバナー覚書では、ガバナー排出が各県単位となり、2030年度まで担当県が決定された。高知キャビネット通常会計繰り越し金の内、400万円を地区緊急援助引当金会計に組み入れる件も承認された。パリンピック余剰金1000万円超も日本ライオンズより返還されて、地区緊急援助引当金会計に繰り入れも決定され合計で2500万円を超える金額となった。これで、地区緊急援助引当金の不足は無くなり、会員からの不足分の徴収は当分必要無いと思われる。議長として残された任期中に懸案「松山準備キャビネット貸付未収金の解決方法の筋道を付けた」と思っています。他にも解決すべき懸案事項はありますので頑張りたいと思います。

336-A地区の名誉顧問会議は他地区に比べ、勝るとも劣らない素晴らしい名誉顧問会議でありますので、今後とも、会員の皆様の為に益々発展されることを願っております。



元地区ガバナー・地区名誉顧問
地区GMT・GLTコーディネーター

真鍋 隆 (こんびら)

一年間を振り返って

年度当初にグローバル・アクション・チームを活用して「会員増強・会員維持を目指しているが、コロナ感染症の影響もあり会員減は否定できず、少なくとも維持レベルに持つていく目標」をたてました。

又、「女性会員を増やし、比率を30%台にしたい」と願い活動した1年でした。

クラブ会長、ゾーン及びリジョンの役員さんにも努力して頂いたが、会員の高齢化もあり物故会員も思いのほか多く、又、

1クラブ解散、1クラブ合併もあつて現在には会員減となっております。年度末迄は1ヶ月ありますので、単一クラブは会員の種別・種類を利用して会員増強及び

会員維持に再度努力して、クラブの未来の為に真剣に取り組んで欲しいと思います。今年度6月末迄は国際協会入会金35ドルは免除となっております。チャンスを活用しましょう。

指導力育成については、私自身も今年度は多くのリジョン・ゾーンに講師として招かれて出席させて頂きましたが、残念なことに「新会員オリエンテーション」及び「リーダーシップ研究会」をコロナ感染症で全く開催されなかったリジョンもあり驚いています。リーダーには創意・工夫をリジョンの発展、活性化の為に次年度は必ず実施しましょう。将来のリーダー養成が急務と感じた1年でした。

結びにガバナーをはじめ、高松キャビネット構成員の皆様、地区委員、クラブ役員の皆様方にはコロナ禍の中、ご苦労様でした。この経験を活かしてクラブの未来の為に又、地区の発展の為にぜひご尽力をお願い申し上げます。大変お世話になりました。ありがとうございました。



GSTコーディネーター

松前 龍宗 (高松玉藻)

一年を振り返って

GSTはグローバル・サービス・チームの頭文字。「アメリカ・ファースト」で代表される「今だけ・金だけ・自分だけ」時代に直面する今、無限の奉仕力精神を具現化するには、奇麗事ではすまされない現実があり、ウクライナ紛争やコロナのパンデミックは世界的経済破局を起し、国際平和や貿易も根本から変えた。

明治維新で武士と言う公務員が職が無くなる、富国強兵策で大国の露や清国に大勝したが、太平洋戦争で敗戦。明治維新から七十五年目であった。大正生まれの男子は七人に一人が戦死。生き残った六人の方々が超頑張り、世界二位の経済大国に日本を成長させた。

維新から百五十年目にコロナが武漢から世界に蔓延。今、国外へ逃げ延びるウクライナ人やアフガニスタン、ミャンマーの人々を見て、私達昭和生まれの使命は何か。

少子高齢化が進み人口減少に歯止めがかからず、格差社会が広がる。

会員も減少高齢化の中で奉仕ニーズは多様化。AI・DXを駆使し、体制維持管理をスマートに身軽にして、温かい地元密着奉仕活動が望まれる。

地区八〇以上のクラブが賛同活動の「プラ塵掃掃活動」は、ビッグインパクトを地域に与えた。共に汗を流してくれた子供達や企業、地域の皆様と喜びを分かち合う素晴らしい成果に、皆々様に敬意と感謝申し上げます。

崇高なライオンズメンバースhipでリーダーシップを発揮し、ファミリーシip感覚で奉仕フレンドシipを高揚する。これからは言葉や習慣や風習の異なる方々とMYLIONを活用して、奉仕を推進しよう。

明日の明るさを創り合う活動を進め、昭和生まれの体験が大きく花を咲かせる。平成生まれの若人と共に力を合わせて令和生まれに楽しんでもらえる社会を築きましょう。



地区LCIFF100ドルキャンペーンコーディネーター

高岡 英治 (松山湯築)

一年を振り返って

コロナ禍に見舞われ、1年延長されたキャンペーン100も2022年6月で最終年となりました。これまで山あり谷ありの道のりでしたが、ライオンズとしての使命と活動に熱心に取り組む会員の皆様に支えられ、336-A地区に於いても目標達成に向かって着実に歩みを進めてまいりました。今期、蔵本地区ガバナーの目標を達成致しました。その厚いご支援に心より感謝申し上げます。

しかしながら、ライオンズの助けを求める声は世界中で益々増えています。キャンペーン100は、そういった声にライオ

ンズが応える為の基礎体力を作るキャンペーンでした。

また近年、発生している数々の自然災害の例を挙げるまでもなく、我が国は災害大国であり、加速する温暖化などの影響もあり、豪雨や台風などの災害レベルも益々大規模化の傾向にあります。このような災害に対しても、LCIFFは迅速に支援金の交付を行っています。

不幸にも、ウクライナでの紛争は、何百万人という家族たちが安全と安心を求めて家を捨て避難しなければならぬ人道的危機を生み出しています。

このような過酷な状況を受け、LCIFFは緊急支援を届け、世界中のライオンズが一致団結して助けられるように尽力しています。

今期は、蔵本守雄地区ガバナーの指導の下、LCIFFを通じて私たちが一人でも多くの困っている人々に手を差し伸べることが出来たこと、会員皆様のご支援ご協力に感謝申し上げます。



山本 久美子 (徳島藍)

FWT活動へ感謝

今期もコロナウイルスのパンデミックでスタートした一年でしたが、FWTの奉仕事業はコロナ禍にも関わらず多くのクラブの御協力を頂き成果を残す事が出来ました。今期蔵本地区ガバナーが掲げられていた「女性会員の比率を30%に！」との目標は到達出来ず、5月現在では昨年同様の23%台を維持している現状です。しかし、女性の入会を積極的に勧め始めたクラブや女性会員が活躍しているクラブも多く見られ来期に向けて楽しみにです。

年次報告と致しましては以下のようになっています。

※ヘアードネーション(小児がんの子供たちへの支援プロジェクト)

5月12日現在で、429名分のヘアードネーションが届いています。

提供者の年齢は、就学前〜80代(50年前の髪を大切に保存されていた物を提供)の方まで幅広く、各クラブが積極的に地域を巻き込んだPR活動をされた結果だと感謝しております。特に若年層のドネーションの割合が多い事に対して、「ライオンズクラブの奉仕に関心を持ってもらおう」という本来の目的の一つは達成されていると認識しています。

※こどもの未来古本募金(内閣府子供への貧困対策プロジェクト)

コロナ禍で約1万円

※外貨収集

コロナの影響で海外渡航が見送られているため、約3万円

※支部結成

クラブ合併もあったが、6Rで一つ、7Rで一つ合計二つの支部が誕生

予断を許されない社会情勢の中においても、こうした336A地区の皆様のご想いが活動の一つ一つの結果に結びついていることに深く感謝を申し上げます。

一年間有り難うございました。



長尾 和彦 (高松源平)

336-A地区 キャビネット幹事 地区キャビネット幹事を 振り返って

今期を振り返り印象に残ったのは、常に規格外の考えを持つておられる蔵本ガバナーの姿勢です。いわゆるガバナーの考え方はなく、何がベストな考え方を常に求めて思考する蔵本ガバナーの姿勢は非常に興味深いものでした。確かに、出た結論は突拍子もない場合が多く、それを表現するために苦労しましたが、同時にそれは非常に楽しいものでした。なんせ、ガバナーズローガンが「命燃やして恋せよライオンズ」ですから！

私自身はこれまでキャビネットに多く関わってきたので、最初、その運営に自信もつていましたが、いざ始めてみると、幹事としてやらなければならないことが桁違いに多く、常に時間との戦いでした。その中に

あつて救いだつたのが、事務局長をはじめとする内局メンバーの機転と積極的な態度でした。自分たちの仕事の範囲にとどまらず、常に打合せしながら前向きに作業をこなしているその姿に頭が下がりました。本当に助けられました。人財の大切さを痛感した1年でした。

又、コーディネーターや委員長を務めていただいた皆様の全力投球にも感銘を受けました。常に楽しそうに、そして、次から次へと奉仕の幅を広げ、それを計画実行して成果を出して行くその姿勢に感動しています。来期にもその結果が繋がりますように強く願っています。

また今期のRC、ZCの皆さんもガバナーの運営方針に積極的に取り組んでくださり、特に海岸ゴミ清掃は多くの成果を上げることが出来ました。キャビネット会議においても前向きな発言が多く、キャビネット運営が助けられました。ありがとうございました。また、気落ちしてしまいそうな失敗やトラブルがあったときでも、名譽顧問や諸先輩の皆様から暖かい励ましと助言を頂きながら一年間続けることが出来ました。皆様の心の広さと深い知識に導かれ、深く感謝しております。おかげで充実したライオンズ生活をおくりました。

最後に各クラブの皆様のご健勝を祈念しまして退任のあいさつとさせていただきます。



3306-A地区
キャビネット会計

馬場 基尚
(高松栗林)

ウィズコロナに向かう1年

そもそもキャビネットがどんな活動をしているのか十分に知らない人間が運営側に入ったわけですから、携わる様々な事象が新鮮に感じた一年でした。驚きに満ちた時間を過ごす経過する時間を長く感じるといふ一般理論があるようですが、実際はあつという間でした。前半はまさにコロナの波に翻弄された船出で、東京オリンピック前後に生じた第5波と4回目の緊急事態宣言に、蔵本ガバナー就任直後の一大イベントである公式訪問は延期の憂き目に遭いました。ところが、10月に入り、嘘のように感染が治まりました。ガバナーのご武運を感じました。会合が再開され、キャビネットも元気が出てきたのもこの頃でした。

このまま収束に向かうのかとぬか喜びもつかの間、豈図らんや、年明け前後にオミクロン株が登場し、これまで以上の爆発的感染拡大が始まりました。一時、実現の希望を持ったフル規格の年次大会開催への不安感に包まれた時期です。しかし、ここでも天恵か、政府のコロナ政策の潮目が変わり、世間でもウィズコロナの機運が強くなり、4月24日のフル規格の地区年次大会の開催に漕ぎ着けたのです。もとより、ホストを務めた4Rの皆様のご協力の賜物であると感謝しておりますが、冷静に時勢を観ておられた医師でもある蔵本ガバナーの決断が大きかったのだと思います。

私自身の備忘の意味も含めて、奉仕団体ライオンズクラブに与えたコロナ禍の所感を最後に記しておきます。コロナウィルスは肉体だけではなく精神に感染します。やる気をなくさせ集団の活力を削ぎます。しかし、逆境でも集団を保つ努力を怠らなければ、むしろその集団を強くすることも出来ます。今回、コロナ禍でも奉仕活動に励み会合を開き続けていたクラブの活動から学ばべき事は多いです。「病は気から」。ライオンズクラブには、来年も再来年もまたそれから先も必ずやつてきます。
また一緒に頑張りましょう。

一年間有難うございました。

〈幹事〉



幹事
長尾 和彦
(高松源平)

〈会計〉



会計
馬場 基尚
(高松栗林)

〈監査委員〉



監査委員
平田 治由
(うたづ)



監査委員
石川 勉
(観音寺中央)

〈副幹事〉



副幹事(事務局長)
正木 一志
(高松葵)



副幹事(事務局長)
有岡 信次
(八栗)



副幹事(事務局長)
新名 泰博
(高松源平)



副幹事(GAT担当)
田中 貞男
(東かがわ)



副幹事(GAT担当)
渡辺 正司
(高松北)

〈事務局〉



副幹事(デジタルチームリーダー)
古川 健造
(高松)



副幹事(アラート担当)
田中 元
(高松空港)



副幹事(副会計)
五味 俊一
(三木さぬき)



事務局員
佐藤 陽子



事務局員
鍋島 明弘



命燃やして恋せよ ライオンズに

Region Chairperson

リジョン・チェアパーソン



1 R-RC
大野 健夫
(松山南)

一年間を振り返って

二年間に亘るこれ迄のコロナ禍も収束せず、今年度もコロナ感染症に翻弄され、会議の開催制限や事業の中止を余儀なくされました。一方、クラブにより温度差があったものの、対面式の代替案としたZOOMの活用は今後の参考となりました。

就任当初よりコロナ禍による会員のモチベーション低下や退会を懸念しておりましたが、1Rにおいては今年度、多くのクラブで結成周年記念を迎えることが出来ました。奉仕においてはワクチン効果の出始めた秋頃より様々な事業に励まれ、又、会員増強においても積極的にご尽力いただきました。そして記念式典当日にも、より力強い「活力」を一杯感じさせていただき、感謝です。

又、予定外の出費となった血液センターへの車両寄贈にも全クラブにご協力を頂き有難うございました。

1RCとしてこの一年間の足跡は僅かですが、貴重な経験は有難く、そしてお世話になったキャビネット、1R役員、委員、各クラブの皆様には心より感謝申し上げます。本当に有難うございました。



2 R-RC
大橋 勝英
(伊予土居)

夏秋冬春多忙な一年に感謝

2RC予定者の直前の体調不良で急遽不肖私となり、会長を終えほつとする矢先の一大事。早々に八月七日の2RC会議と方バナー公式訪問。コロナ禍で中止もありえる中あえて開催し、懇親会しながら首尾よく終え、その後、各ゾーン諸会議や例会訪問をこなし、この七月に愛媛県で開催予定の献血運動推進全国大会に係る献血事業車両の寄贈を、1R、3R全員参加での取り組み、二つの研修会やアワード選考等で汗流しました。また創立60周年記念が四クラブあり、式典は中止ながら記念誌への祝辞を寄せたり、忙しくも貴重な経験を積んだ一年でした。プラゴミ問題ではガバナーの方針を広めることに努め、諸団体の会合や投稿で訴えました。心残りにはコロナ禍で二年間、薬物乱用防止教育講師養成認定講座が未開催にあること。

諸任務をこなせたのも、賢明な事務局や優秀なアシスタントがいたればこそで、献身的にご尽力に感謝の念はつきません。



3 R-RC
山本 誠
(八幡浜)

一年を振り返って

1999年10月にライオンズクラブに入会した頃は、ライオンズ用語を覚えることに苦労したことを覚えています。

22年後、3R・RCの役職を受けることになり、一年間楽しく出来ましたことに、関係の皆様にご心よりお礼申し上げます。

新型コロナウイルスも3年目に入り、2021年4月29日の次期役員オリエンテーションがオンライン開催となりましたが、6月6日のリジョン会議「引継ぎ」は対面開催が出来ました。しかし、7月に入り新型コロナウイルスの行動制限、自粛の中、3人のZCとの調整を行いながら、クラブ訪問、リジョン会議、諮問委員会が続きました。「献血運動推進全国大会・愛媛県大会」では、リジョン会員の賛同を得て赤十字に献血活動車を寄贈することが出来ました。また、四国内のリジョンでは「ヘヤードネーション」運動が活発と聞き、告知をしたところ3Rで1名賛同者があり、5月に手続きを行いました。情報、ノウハウの共有で、この事業が活発になればと思います。

「薬物乱用防止教育認定講座講師養成講座」をコロナ対策で3R単独開催の準備を進めておりましたが、保健所、警察本部、麻薬・覚せい剤乱用防止センターとの相談の結果、3年連続の中止となり、次年度に引き継ぎます。

各クラブの皆様のご協力本当にありがとうございました。



4 R-RC
植田 康広
(高松東)

感謝

初めに4 Rから蔵本守雄ガバナーを輩出した事により全ての面において4 Rの皆様にはご無理ご負担ご協力を頂きましたこと心より感謝申し上げます。私自身としましては22クラブへの例会訪問やアクティビティに参加してライオンズ歴22年目にして知った事が沢山ありました。中にはクラブ合同で活動をする事により参加人数の何倍にも成る事も分かりました。会員数の少ないクラブは同じ奉仕をしているクラブとか、プラザークラブと合同で奉仕活動する事により多くの会員と話ができて今までのような奉仕が出来るのではないのでしょうか？その為には携帯電話にMy Lionを登録して他クラブの情報を調べたり自クラブの活動を載せる事により可能になると思います。最後に今期30名の新会員を入れまして志度ライオンズ幹事山内義広談を紹介させて頂きます。

①クラブ紹介チラシ作成②青年会議所や他団体に所属している方は会費を半額。現在47名今年中に100名にするそうです。



5 R-RC
藤原 宥然
(坂出)

回顧録

一昨年から続くコロナ感染にともない、4月29日に坂出LCよりRC藤原、ZC山地、地区委員北浜の3人でのWeb会議、7月のLT・TT委員長スクールと順調にスタートしました。8月に延期になっていた2020東京オリンピック・パラリンピック開催後のコロナ第五波により、13クラブ中3クラブしか例会訪問が出来ず、1月の北京冬期オリンピック後の第六波により、真鍋GMT・GLTコーディネーターの助言もありましたが、新入会員オリエンテーション及びリーダーシップ研究会など延期、中止を余儀なくされました。

9月4日予定の地区ガバナー公式訪問を10月10日に開催、11月には献血推進研修会、12月には献血抗感染塗装バス贈呈式と薬物乱用防止教師養成講座を4R・5R合同で開催する運びとなったこと、4R植田RC、朝田委員長お二人のご支援ご協力の賜物と感謝しております。

5Rから次期第2副地区ガバナー選出の今年度、私の所属するクラブの親と子のクラブから2名が立候補され、336A地区では初めての選挙となりましたが、真鍋名誉顧問・平田前RCのご支援ご助言を頂き1名を推挙し、4月24日の年次大会代議員選挙にて無事選出され、胸をなで下ろしております。

この一年、1Z山地ZC・2Z武林ZC・各地区委員皆様のご協力により、漸く任を終えようとしています。感謝、感謝で一杯です。

W e S e r v e



6 R-RC
藤戸 啓朗
(須崎)

一年 やつと明るさの見えるてきた

コロナ禍の中からスタートしたこの一年。各クラブのみなさんと可能な限り、意見を交わし繋がり再構築を図りたいと考えていましたが、やはりコロナの恐ろしさ、ガバナー公式訪問も異例の7Rとの合同開催。例会訪問も先送りや年末に集中、きつい日程でした。それでもみなさんと会って話が出来たことは、うれしいことでした。

奉仕活動では、ガバナー主導のプラゴミの回収運動で、1Z6クラブが合同ゴミひろいをする等、各クラブとも地元・マスコミを巻き込むいい活動ができました。

また、コロナで中断していた薬物乱用防止教育認定講師養成講座も7Rとの合同で行いました。もし今年度実施できなかったら、有効期限切れで認定講師は6Rになくなくなるところでした。次年度への足固めができたと思います。

あまり、思ったことができません一年でしたが、充実していました。ありがとうございました。



7 R-RC
宇都宮 博史
(高知桂)

一年間を振り返って

今年度もコロナ感染の影響を大きく受けました。次期RC・ZC・地区委員オリエンテーションがズームに始まり、八月二十一日に予定していた6・7R合同のガバナー公式訪問も遅れて十月三十一日に開催する事ができました。今回初めて6Rと合同で行うという事で、藤戸6R・RCが尽力されました。彼とは高校の同級生であり、一年間よくコミュニケーションがとれた事が良かったと思います。その一例として、ガバナー地区方針の「河川敷、海岸線、ビーチ清掃」プラスチック塵の除去について、十月十七日に6Rとほぼ同時開催ができました件について、7R・15クラブに感謝しています。残念なのは、会員的大幅減少という結果となり、岸次期7R・RCに大変迷惑をおかけする事が残念でなりません。7Rの会員の方々、一年間付き合ってく頂き、誠に有難うございました。



8R-RC
向 和人
(徳島すだち)

ライオンズさらに恋して の1年

今期リジョンチエアパーソンとしてライオンズ活動に携わらせて頂き色々な経験をさせて頂きました。

新型コロナウイルスに翻弄される事も度々でしたがガバナースローガンの下ライオンズへの思いを伝えるべく行動してまいりました。奉仕活動は本より人との出会い人とのつながりを大切に、もう一度ライオンズに恋して人材獲得と人材育成をシクラブそして8リジョンの増員増強を考えてまいりましたが、十分な活動は出来てなかったと思います。反省もありますがキャビネットを通じて多くの仲間と知り合え勉強になった一年でありました。

これを肥やしに経験を語りより多くのメンバー獲得とライオンズ活動の素晴らしさを伝えて行こうと考えております。



9R-RC
岩佐 典秀
(藍住)

今期を振り返っての感謝

9リジョン内では今年度、阿波ライオンズクラブの50周年記念式典と、鳴門西ライオンズクラブの40周年記念式典が行われ、阿波市と鳴門市を深く検索する機会を得ることができました。

例えば阿波市を代表する名所「土柱」や、鳴門市の「板東俘虜収容所」などです。先に挙げた地域は勿論のこと、9リジョン内には素晴らしい名所や文化・歴史があることを再発見できたことが何よりでした。

また、昨年12月に徳島県赤十字血液センター所長殿より献血事業推進に貢献したことにより感謝状を頂きました。その際、かつて広島県にある中国・四国血液センターを訪問し、綿密な血液検査の現状を通して、広く献血運動の推進の大切さを実感したことを申し上げることができました。

9リジョンには12クラブございますが、まだまだ素晴らしい可能性と未来を秘めております。奉仕活動の内容を一層充実させることを通じて、会員の増強に努めて参りたいと心を新たに、退任の挨拶と致します。



蔵本 守雄地区ガバナーの今期の方針でアクティビティ！ ～河川敷・海岸線・ビーチの砂浜清掃活動～



Overcome

Zone Chairperson

ゾーン・チェアパーソン

命燃やして恋せよ ライオンズの日々

ZCを拝命して早々に1Rガバナー公
式訪問での司会進行役、コロナ感染防止の
ため何度も延期になった1R第1回諮問
委員会、試みとしてオンラインの開催に変
更し、手探り状態でしたが無事開催するこ
とができました。DX委員長に感謝。

例会訪問もコロナ禍の中の訪問となり
ましたがRCと二一緒に1Z5クラブすべ
て訪問できました。各クラブ工夫されてレ
ター作戦、オンラインでの開催など将来に
向けての例会のありようの一旦を垣間見
た気がいたします。

研修会等も出席人数を限定し開催。
コロナ禍でも安全を確保し不安を払拭し
知恵を巡らせ実施する方法を考えること
も大切なことだときづきました。恐れず先に
希望を見つけ挑戦することが大切だと思
います。

最後に会員増強では特筆すべきは松山
城山LCで9名の新会員の入会の素晴ら
しい成果がありました。

不安だけの出発でしたが、無事着地する
ことが出来ました。ご縁をいただきました全
ての皆様にお礼と感謝を申し上げます。



1R-1ZC
渡辺 京子
(松山つばさ)

各クラブの努力に感謝

今期も、前年度、同等にコロナによる、例
会中止の中での今期が始まり、例会訪問
等も予定どおりに行えず、各クラブに今年
度の活動報告等、なかなか直接伝えること
が出来なかつた。しかし、二回目以降の諮問
委員会が開催できるようになり、対面で話
し合いを持てるようになり、各クラブの疑
問、退会者防止対策、新会員の勧誘の方
法を聞くことが出来た。各クラブ、今までの
方法では、クラブ運営が大変になる。と、危
機感を大なり小なり持っているとの事だ
した。しかし、ゾーン全体では、新会員が増え
ている、退会も減少。各クラブの会長、幹
事、会員の努力でコロナ中でも、力強く活
動をされていることが、うかがい知ることが
できました。

この一年、大したお手伝いも、新しい道
筋もできませんでしたが、各クラブの強い思
いと、多くの方々との出会いを大切にしま
いと思います。

この、貴重な経験を今後の活動に活か
せるよう努力してまいります。皆様方にはご
指導、ご支援を頂き誠にありがとうございます
ました。各クラブの益々の活躍、発展、お
祈り申し上げます。



1R-2ZC
岡田 俊彦
(伊予)

一年を振り返って

三年振の行動制限のない、ゴールデンウ
イークを迎えたところです。コロナ・コロナに
翻弄された一年でした。

昨年、4月の次期ZCオリエンテーション
を皮切りに全く面識もない中でのリモート
開催、この先どうなる事かと気を揉む余裕
もなく年度末を迎えることとなりました。

年間行事も前半に集中するとは、聞き
及んでおりましたが、6月の準備段階から
予定が詰まっております、感染者数の動向に
よつては開催内容にも変更があることも視
野に入れながらも、予定を熟すつもりでし
たが、ZCとしての例会訪問を予定通り進
められなかつた事が残念に思います。

このコロナ禍によつて、各クラブにおかれ
ましても、アクティビティの自粛や延期も余
儀なくされ、例会開催においても創意工
夫が要求されたことと思いますが、ライオ
ンズでは対面開催が原則であることも、忘
れてはならないこと事だと思えます。

最後になりましたが、この一年間、ご指
導ご協力を頂きました皆様には心より御
礼申し上げます。



1R-3ZC
廣江 和男
(松山中央)



2R-1ZC
伊藤 龍一
(新居浜)

「感謝の一年」

この一年間を振り返り、残念ながら今期もコロナに翻弄された一年でした。年初は、様々な会合が中止やZOOMでの開催となり、その後もリジョンやゾーンの公式の会合や活動も次々と書面報告や中止となりました。私は、就任以来ゾーン・チェアパーソンとして一番の責務は、2R-1ZC内4クラブの親睦と調和を図ることだと念頭に置き臨んだのですが、残念な思いが残ります。その様な中でも第2回、3回と懇親会付きでガバナー諮問委員会が出来たこと、2月に中止で出来なかった4クラブ合同夜間例会、懇親会が6月の最後に開催できたことは、4クラブの三役並びに会員さんのご理解とご協力があればこそ実現出来たことと深く感謝すると共に、ゾーンチェアパーソンを拝命したことにより、多くの方と新たな出会いがあり、そして親交をもてた事に感謝いたします。

最後になりますが、1年半後には、当ゾーンより第二副地区ガバナー選出予定となっております。2R-1ZCがこれからも一枚岩となり活動していくことを願ひまして、私の退任の挨拶とさせて頂きます。一年間ご協力いただきました皆様に心より感謝申し上げます。



2R-2ZC
田坂 達哉
(今治中央)

残念だった一年

何も分からぬままZCと言う大役を受け、何も分からぬまま初めての第一回キャビネット会議に出席し、そこでやっとZCの仕事が分かったような気がしました。七月からは、キャビネット・リジョン会議・ガバナー公式訪問・ZCとしてのゾーン内例会訪問・ガバナー諮問委員会と最初は順調なスタートでしたが、やはりコロナが拡大しだし殆どがZOOM会議・書類配布で終わらせてしまい、合同例会や周年事業も中止にせざるを得ませんでした。私としては不完全燃焼で残念な一年でゾーン内の会員の皆様には大変申し訳なく思っております。当初は、キャビネット・リジョンとの伝書鳩ではなくZCとしての思いを持っておりまして、特に、会員増強と退会防止の難しさ！毎年この事がクロスアップされ諮問事項も同じ質問が繰り返され具体的な意見は未だにありません。退会した人達・現役の人達に聞いたところ、リーダーシップにも通じますが、会議が多すぎる・仕事等々のため役割を受けられないなど色々な意見でした。

ライオンズも変革の時なのではないでしょうか、平時でもZOOM会議を併用しハイブリッドな会議等々を推し進めて行けばいいのではと、この一年ZCを受けて思った事でした。ともあれ、力不足の私を支えてくださった1R・RCの大橋様、そして二Zの会員の皆様、ご協力有難うございました。



2R-3ZC
石川 久満
(伊予三島)

一年を振り返って

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃は大変お世話になっております。

一年間、各クラブ様に奉仕活動等を通じて大変なるご協力を頂きましたこと感謝申し上げます。新型コロナウイルス感染症が拡大する中、未だに終息が見えない状況下で、各クラブ事業も感染対策し、出来る限りの事業を継続する中で、蔵本地区ガバナー方針の河川敷、海岸線のプラスチックの清掃活動など各クラブの協力の基で多大なる成果が得られました。

取巻く環境が厳しく行動の制約があり、例会開催の難しいなかで、各クラブが、ズーム例会等を通じてクラブ情報の共有化をはかり運営される中の苦勞の一年でありました。一年間、ZCとして十分な事が出来ませんでした。ご容赦ください。

各クラブの今後の発展、ご活躍、ご健勝をお祈りいたしまして、挨拶に代えさせて頂きます。



2R-4ZC
高橋 学
(西条)

代打のゾーンチェアパーソン

2リジョン4ゾーンチェアパーソン高橋学です。就任を振り返って思う事は、代打のゾーンチェアパーソンが務まったかどうか自問自答中です。

「西条ライオンズクラブ」より4ゾーンチェアパーソンを推薦するに当たり、当初「故安藤ライオン」が受けることとなっておりましたが、令和3年2月に逝去されました。そこで、当時無役の私にお鉢が回ったのだと思っております。

「故安藤ライオン」のクラブへの多大なる功績を顧みますと、当然代わりは務まりません。あの世からおしかりを受けないように、私のできる範囲で努めさせて頂きました。(未だ少し残っております。)

コロナ禍の中、会議等思うように開催できずズーム会議等にて対応するなど工夫したつもりです。計画したゾーン合同アクティビティ「海岸線の清掃」「遍路道清掃」は概ね実施出来ましたが、複数回の例会訪問等は未だ叶いません。残すところ「第4回ゾーンレベル会員委員会並びに年次会合」を無事開催出来れば大満足です。



3R-1ZC
城戸 彰
(内子)

退任のご挨拶

蔵本守雄地区ガバナースローガン「命燃やして恋せよライオンズに」に込められた想いのもと、キャビネットとクラブの架け橋として頑張りますと挨拶をしてから、早1年を迎えます。

相変わらず、新型コロナウイルスの影響は大きく、ライオンズの活動も色んな制約を受けていますが、そんな中、各クラブとも出来る限りの事業を推進していただいたことに感謝申し上げます。

いつの日かコロナが終息した時、今まで出来なかったことに対して、より積極的なアクティビティが展開されることを期待しております。そのためには、メンバー間のコミュニケーションを十分に図っておくこと、奉仕活動がライオンズの基本であることを再認識しておくことが大切だと思います。

最後に、私の力不足を感じた1年となりましたが、支えて下さった山本誠RCをはじめ地区役員、地区委員、クラブ役員の皆様に感謝申し上げます。1年間ありがとうございました。



3R-2ZC
菊池 完二
(保内)

退任の挨拶

昨年七月3R・2ZCのゾーン・チェアパーソンに就任し、この一年何とか仕事を務めさせていただきました。

地区役員は、ゾーン・チェアパーソンが初めての役職のため分からないことは戸惑うことも多く、至らない点も多々ありましたが、リゾン・チェアパーソンの山本様のご指導の下何とか任期満了となりました。

この一年各クラブにおいては例会をはじめとして各種行事が変更や中止となるほど大きな影響を受けました。ゾーンにおきましても今期企画しました会議や事業が予定通りに開催・実施できなかつたこと、特に懇親会などクラブ間の会員交流の機会が制限されたことは本当に残念でした。

3Rの一番の問題は、会員数の減少などライオンズクラブとしての課題はたくさんあります。各クラブの将来を見据え、色々な方法を模索して頑張っていきたいと思っております。

任期中お世話をお願いした全ての皆様に感謝を申し上げ、又、新型コロナウイルスの1日も早い終息を願い退任の挨拶とさせていただきます。



3R-3ZC
平田 稔
(南宇和)

この1年を振り返って

昨年5月の次期LC・ZCオリエンテーションに始まり、7月にZCに就任し、この1年、何とかZCの仕事を務めさせていただけました。

ZCは初めての役職であり、わからないことばかりで、戸惑うことも多く、至らない点が多くあったと思っています。新型コロナウイルスの感染拡大の為、多くのクラブ行事が中止になり、計画通りの活動が出来ずに後悔するばかりです。ゾーン内の諮問委員会は、実施できましたが、各クラブ間の交流や情報交換を円滑に行うことが出来ずに、申し訳なく思っております。3ゾーンは愛媛県の南端の4つのクラブで成り立っていて、高松キャビネットよりは最遠のゾーンの1つであり、最新の情報を得る為には、ズームの利用等の拡大が必要であると思っております。本年はクラブ事務局の移転もあり、より良い環境となり、建物内にて各種会議も可能となり、ますます活動を大きくしていきたいと思っております。又次年度は当クラブよりRCを出すことになっており、よろしく御指導御協力をお願い申し上げます。最後にこの1年間、RCを始めキャビネット事務局に大変お世話になりました。また3Rの地区役員の皆様、3Rのクラブ委員の皆様へ感謝を申し上げます。退任の挨拶とさせていただきます。一年間ありがとうございました。



4R-1ZC
橋元 高宣
(小豆島東)

高松キャビネット事務局御中

いつもお世話になっております。地区誌原稿ですが、4R1ZC橋元病氣療養中の為、申し訳ございませんが原稿執筆ができませんので連絡させていただきました。よろしくお願いたします。



4R-2ZC
石井 正志
(高松源平)

1年間を振り返って

コロナも概ね突破できるのではとの雰囲気の中でスタートした新年度、キャビネット会議、リジョン会議での方針を受け、第1回諮問委員会、ゾーン会議に向け、ゾーン内の各クラブを地区委員各位と共に訪問する事からスタートとなりました。

コロナの影響もあり例会訪問も11月中旬までかかりましたが、ベテラン会員が奮闘しているクラブ、日常的な会員間交流の熱さを感じさせてくれるクラブ、新しい会員の躍動が感じられるクラブ、其々のクラブが歴史を引継ぎ、クラブ役員を中心にコロナ下でも継続的に奉仕活動を行っている事を実感させて貰いました。

年次大会への参画、恒例のゾーンの合同アクト、親善ゴルフ大会に加え、ガバナー提案の海岸一斉清掃も各クラブから多くの会員の参加の下に実施する事が出来ました。

「命燃やして恋せよライオンズ」のスローガンを現実のものにする為にも、クラブ間の交流をふやし、奉仕活動を多様化して、若いエネルギーを獲得する事がクラブの活性化の鍵であると実感した1年でありました。

御指導・御協力頂いた役員の皆様、2Zのクラブの皆様、1年間ありがとうございました。



4R-3ZC
松原 典士
(長尾)

コロナ禍の中で

昨年4月、次期ZCオリエンテーションは新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、ウェブ会議で始まりZC就任まで対面式を含めて6回の会議を経て、7月正式にZCという大役をお受けし早いもので一年が過ぎようとしています。

今期は何と言っても4Rから選出された蔵本守雄地区ガバナーの誕生の年でした。

この間、ガバナーを初め高松キャビネット、そして3Z内5クラブ役員の皆様、クラブ会員の皆様、事務局職員の皆様のご協力を得ながら無事終えようとしています。

昨年十月にはコロナ禍の中、3Z合同例会で地区ガバナーをお招きしてゾーン内が一丸となり地区ガバナーを盛り上げて指導もいただきました。地区ガバナーの方針に基づき各クラブとも協力することを誓い合いました。具体的には各クラブとも継続事業の実施はもとより新規事業にもチャレンジの勢いが見え安堵いたしました。

課題もなっていますが、ライオンズクラブの会員増強と会員維持、どのクラブとも問題は抱えています。ゾーン内でこれからは話し合いを続けてまいります。

最後になりましたが、コロナ禍が早く終息してライオンズクラブに誇りと情熱をもつ活動できますことを念じつつ、退任の挨拶とさせていただきます。



4R-4ZC
丸山 勉史
(高松北)

今期を振り返って

約2年前に100年に一度となる新型コロナウイルスにより、政治・経済が大混乱に陥り、各ライオンズクラブの活動においても多大な影響を受けられたと思います。

全く経験しなかった状況で決定・実行をする事は大変な判断が必要だと思えます。私自身も年4回のガバナー諮問委員会を開催して良いのか、いつ開催するのか、感染状況を見ながら日々迷っていました。

只、第二回諮問委員会は飲食付き(アルコール含む)での開催。やはり会だけより、アルコールを含めた親睦会は各クラブの意見交換でき大変有意義な時間となりました。4R・4Zの合同アクティビティはサポート高松での合同清掃を実施。紫雲ライオンズ中心として6クラブ約50名の参加はコロナ感染状況にも関わらずライオンズの熱意を感じました。6月の4R・4Zの年次報告会は3年ぶりの全員登録・アルコール付きの懇親会の開催です。いつまでもコロナに負けてはいられません。来期に向けて前向きに頑張りましょう。



5R-1ZC
山地 規博
(坂出)

出合いに感謝

ゾーン・チェアパーソンに就任して、早いもので1年を迎えようとしています。新型コロナウイルスの影響を受け、ほとんど活動らしいことは出来ませんでした。仕方ない事とはいえ、心残りでもあります。

しかし、そんな中でも数か所クラブ訪問することが叶いました。挨拶をする程度でしたが、良い出合いの場になりました。また、2ゾーンの竹林ゾーン・チェアパーソンと共に5リジョンの1、2ゾーンで合同会議を行いました。コロナの感染拡大防止を考えた上での、会議の合同・短縮でした。結果的に13クラブと交流が出来、今後にも生かせる実績になったと思います。従来に比べると少ない活動の中ですが、会員の皆様と出会えたことを大変うれしく思っております。充実した時間でした。ゾーン・チェアパーソンとして得たものを、今後のライオンズクラブでの活動に活かしていきます。

今期、我が坂出ライオンズクラブからリジョン・チェアパーソン、ゾーン・チェアパーソン、地区委員と、3役が重なったので我がクラブの事務員は大変だったことでしょう。共に活動し、ご協力くださった皆様、1年間ありがとうございました。



5R-2ZC
武林 正樹
(多度津)

改めておもうライオンズ

平成5年6月入会で本年29年が経過しました。昨年の地区委員そして今年度のZCを拜命して改めてライオンズクラブの良さを感じています。

未だ収束しないコロナ禍での活動で各クラブとも工夫をこらした例会運営を見せて頂き、感心した次第です。私自身も29年前の何も知らないライオンズ一年生の時何を思い活動していたのか？コロナに翻弄されたこの二年「変革」もあり「原点回帰」も有りの様です。入会間もない頃先輩ライオンからいつも言われていた言葉は、仕事が一番ライオンズは、その後でいいんだぞ！の一言が今も心に残っています。

今年70才になり若きライオンに伝えて行きたい言葉です。そしてZCの任務に、就かせて頂いた多度津クラブの皆様へ感謝申し上げ退任の挨拶とさせていただきます。



6R-1ZC
大野 富彦
(高知)

退任の挨拶・少し誇れる2つのこと

ゾーンチエパの大きな職務の1つである諮問委員会の運営に当たって、藤戸6RC、そして地区委員の皆さん、並びにクラブ会長・幹事さん他、ゾーンの皆さんの関係者の皆様のご協力とご支援をいただき本当にありがとうございました。

諮問委員会では今期の蔵本ガバナーの活動基本方針を、各クラブ内へしっかりと伝えその浸透を図ることが、ゾーンチエパの役目である訳であります。この一年自分なりに努力はしたものの、その成果としてはかなり乏しいものだった様に思われます。然しながらその乏しい成果の中でも、2つほど少し誇れるものがございまして披露させていただきます。

1つは、会員の減少によりクラブ運営が厳しくなっていた高知とさみずきLCを、山崎第二副地区ガバナーを中心として、それぞれのクラブ関係者の努力により、高知LCとの合併への運びとすることが出来たことは、会員の現状維持を図る上でも大きな成果であったと考えます。

もう1つは、今期ガバナー方針である「砂浜清掃」活動の実施において、6R-1Zの全6クラブが種崎海水浴場の清掃を、地元の町内会の皆さんと合同で約120名の参加者により実施出来たことです。そしてそのライオンズの活動はマスコミメディアを通じて、「プラごみの環境への悪影響」問題として大きく取り上げられ、ライオンズの活動を地元の方々に広く知っていただくことが出来たものと思えます。このことはライオンズの光ではありませんが、1人1人の力には限りがありますが、思いを同じくする多くのライオンズの皆の力が集まれば、それが大きな光明となって闇を照らすことが出来た例として誇らしく感じた次第です。



6R-2ZC
片岡 賢
(土佐)

「笑顔の戻ったライオン」

昨年の就任挨拶で「四国のライオンが笑顔で楽しいクラブライフを過ごせる様にと抱負を述べさせていただきました。

第一回キャビネット会議よりスタート、諮問委員会、ガバナー公式訪問、例会訪問と矢継ぎ早に行事が続きました。その中で、ゾーン内各クラブ会長さんをはじめ会員の方々と杯を傾け、様々なお話を本音で語り合う中で、「もつともつと楽しい例会を、人の集まる例会を」との声をお聞きしました。楽しい例会は、自然と笑顔が溢れ、人の輪が出来ます。そういう同じ思いの2Zの仲間作りに努力させていただきました。笑顔の戻ったライオンが少し増えたかな、と思います。

最後に、ZCという役を体験させて頂いたガバナーはじめRC、ゾーン内の各クラブの方々、本当に有難うございました。

私のライオンズライフに大きな一ページを残してくださいました事に心より感謝申し上げますと共に、四国のライオンに笑顔が戻ったことに万歳!!



6R-3ZC
西村 速夫
(土佐清水)

一年間をふりかえって

昨年五月～六月の研修、準備リジョン会、引き継ぎ会を経て、いよいよ七月に入り第一回地区キャビネット会議が開催されゾーンチエパゾーンとしての役目が始まりました。

諮問委員会、例会訪問では藤戸リジョンチエパゾーンや3ゾーン内の元ゾーンチエパゾーン、クラブ三役の方々が大変協力的で私の力不足を暖かくカバーして頂きストレートで建設的な意見交換ができて大変感謝しております。アクティビティにおきましては、レオクラブとの施設訪問、子供食堂、英語弁論大会、園児に夢を大切にする七夕飾り、少年野球大会、献血奉仕など、それぞれのクラブが地域に密着した活動を継続していること、私自身この3ゾーンの一人であることを誇りに思える一年でした。

会員増強につきましてはコロナ禍で経済が疲弊しているなか厳しい状況には変わりありませんがゾーン内でクラブの将来を見据え共通の課題とし、取り組んでいく事の大切さを強く感じました。

最後に自分のクラブの中だけでは出来ない様々な体験や人との出会いが、自身の財産になった事に感謝いたします。そして、任期中お世話になった全ての皆様へ感謝申し上げます。退任の挨拶とさせていただきます。



7R-1ZC
浅野 照
(土佐香南)

ZC就任を振り返って

キャビネットの役目は、初めての事だったので戸惑うことばかりでした。

新型コロナウイルスの感染がまん延し、予定していた行事は延期や中止の知らせが続き、気をもむ毎日でした。

就任して先ず、最初に酒井公一前ガバナーに役職初心者向けの講義を受けに行き、少しずつ理解できるようになりました。

また、7RCの宇都宮博史Lの温かい支えにより、西村行雄2ZC・藤岡志津恵3ZCとの伴もできて楽しさも増してきました。

役目を負うということは、責任もあり時間も必要とされますが多くの学びと出会いがあり、ライオンズクラブの本質、友愛と奉仕の精神を知るには良い機会でした。

蔵本守雄ガバナーの「命燃やして、恋せよライオンズに!!」のスローガンが今になって強く心にフィットしています。これからの課題である会員増強、クラブの在り方等にもっともつと力を注いでゆこうと思っています。



7R-2ZC
西村 行雄
(土佐本山)

四国四県の意見交換で 視野が広がる

最初はゾーンチェアパーソンの役割が見当できず不安だったが、そのうち分かるだろうと腹を括って就任した。運悪く就任間もなく事故に遭い入院したため、クラブの例会訪問が遅れ秋以降の活動になってしまった。地区キャビネット会議や地区ガバナー諮問委員会へ参加する中でゾーンチェアパーソンの組織的役割についても次第に理解できるようになってきた。

私の属する土佐本山LCは四国中部「早明浦ダム」がある山間地の小規模なクラブで地域内活動がほとんどであり、地区キャビネット会議のような四国全体の役員が一堂に会する会議に出席し他県の取組状況を知ることができ大変勉強になった。と同時にライオンズ活動の視野も広がり、新たな意欲が湧いてきた。新型コロナウイルス感染症防止対策によって日常活動が制限され、会員増強の目標達成は不十分な結果に終わったが、河川・海岸線のプラゴミ等の一斉清掃ではゾーン内のクラブが連携し大きな成果をあげることができた。



7R-3ZC
藤岡 志津恵
(高知りょうま)

ZC退任のご挨拶

本年度3ZCを拝命させて頂きました事、大変光栄に思っております。

我がクラブは来期25周年を迎える年に当たりますが、これまでのクラブの歴史では酒井前ガバナー、白坂前キャビネット幹事、岡村前キャビネット会計の3名の方がゾーンチェアパーソンを経験していらっしゃいます。私にとっては重責そのものであり、身の引き締まる思いと緊張感でスタートしました。

ゾーンで見えますと、高知桂ライオンズクラブ・高知中央ライオンズクラブ・高知りょうまライオンズクラブ・土佐国府ライオンズクラブの5つのクラブを担当させて頂きました。各クラブを訪問させて頂き感じた印象は、どのクラブも厳粛な中にも温かさのある立派なクラブばかりでした。但し、コロナ禍での活動、行動の制限がどうしてもありますので思い切った事が出来ない場面もあつたと思います。世界レベルで見えますとまだまだ減少傾向とはいかず終息がいつになるのか不明とのことです。

我がクラブは支部クラブが誕生しておりまして5名の女性メンバー達で、少ない人数ではありますが皆さん楽しんで早朝清掃にも積極的に参加して下さい。昨年12月の結成記念例会の折には入会式を行い、池田会長よりライオンバッジを装着して頂き名実ともにライオンズの仲間入りを果たせました。今後とも皆様の暖かいご支援宜しくお願致します。



8R-1ZC
圃山 登
(小松島)

ゾーンチェアパーソンを 振り返って

任期も終わりが来ています。周りの皆様大変お世話になりました。コロナ禍の中でのスタートでしたが、公式訪問・諮問委員会を無事終えれそうです。皆様方のご協力ご支援のたまものです。特にGMT真鍋コーデイネーターさんは、熱心にピーチをして頂き諮問委員会の活性になったと思っています。

又、第一回諮問委員会はZOOMでの開催となつてしまいましたが、8R全クラブの参加頂いたのも、記憶に残りました。

8R各クラブが、色々な方面にアクティビティをされ誇らしい気持ちにさせて頂きました。アワードの検討も苦渋の判断させて頂きました。キャビネットとクラブの中継役として充分ではないかも知れませんが、SNS・FACEBOOK等を活用して、これからも各クラブの情報交換がスムーズに行え、8Rの活性化に繋がれば良いと思っています。



8R-2ZC
清水 三枝
(徳島吉野川)

大役を終えて、感謝の言葉

8R・2Z・ZCを拝命してから、早いもので一年が過ぎようとしています。

今期も第1回諮問委員会はZOOMでの開催となるなど、コロナ禍の影響が続きました。訪問例会でも会員同士の懇親が制限され、通常とは異なる活動を余儀なくされました。その様な中でも、14クラブ例会訪問では、それぞれが暖かく歓迎して下さい、各クラブの会長はじめ会員の皆様と交流ができましたことは、とても嬉しい経験でした。

また、私の所属する徳島吉野川LCには、ホストクラブとして多大なご支援をいただきありがとうございました。実は今期、私は所属するクラブの結成30周年記念大会の委員長のお役も引き受けておりました。ZCとの両立に不安も感じていたのですが、クラブのメンバーに支えられて、何とかこの2つの大役を全うすることができたかなと思います。

この一年活動を共に致しました、向RC、圃山ZC、地区委員の方々にも心より感謝申し上げます。また、指導力育成などの講師として何度もお越し頂きました、真鍋G.M.T・G.L.Tコーディネーターには大変お世話になり、厚くお礼申し上げます。

キャビネットと各クラブとの橋渡し役として努めてまいりましたこの一年、至らないところもあつたかと存じますが、皆様方のご指導、ご協力のおかげで無事、次に引き継ぐことができます。心より感謝申し上げます、私のご挨拶とさせていただきます。



9R-1ZC
林 昭博
(徳島眉山)

知識のない自分に反省

ライオンズクラブに入会して二〇数年になりますが、ZCに任命されて一年ライオンズに対しての知識の無さをこれ程感じたのは初めてでした。一年任期で経験も無くZCに就任してゾーンをまとめていくのは非常に難しいと感じました。コロナの影響で例会訪問もままならず、諮問委員会もなかなか開催できず各クラブの内情を把握できないままに終わってしまったように思います。

一年を振り返って納得できたのは、海岸線の清掃奉仕です。Zの皆さんの協力を得て多くの一般参加者の力をお借りして成功を取ることができました。一つの目標に対して力を発揮できるのがライオンズクラブの強みだと感じました。最初にZCに対しての勉強をもつとしておけば良かったと思います。

一年をなんとか乗り越えられたのは、クラブの事務局員のおかげです。知識の豊富な事務局員に心から感謝申し上げます。



9R-2ZC
山下 善久
(阿波池田)

ゾーンチェアパーソンを経験して

コロナに翻弄され、気が付けば何もしないうちに任期が過ぎてしまった、そんな感じの一年でした。9R各クラブの皆様にはいろいろとご協力をいただきありがとうございました。

現在の各クラブでは積極的に地域の奉仕活動に力を発揮されているようですが、それでも私の知る限り、一般の方々のライオンズ認知度はまだまだ十分といえないものがあるようです。独自のクラブ活動だけでなくクラブ間で協力し合って世間にライオンズが存在をもつとアピールしていく必要があるように思われます。ZCの立場としてそのような活動ができなかったのが悔やまれるところです。お互いに協力し合えるアクティビティを見つければ

We serve & enjoy itでボランティアに精進していきましょう。





MC・地区誌編集委員会

委員長

安戸 照清 (高松西)

MC・地区誌編集委員会を振り返って

今期の委員会方針の会報から広報という点では、少しではありますが進めて行けたのではないかと思っております。

コロナ過の中、活動が制限され例会開催も出来なかつた時期ではありましたが、今期ガバナーの基本方針にありますプラスチックゴミの撤去作業、又は各クラブの継続アクティビティの開催と会員の方々の熱意を感じる事が出来ました。

その熱意をそのまま地区誌に掲載し発行を行う事が出来ました。

各クラブの皆様には感謝の言葉しかありません。

本当にご協力ありがとうございました。

後、発行に際しましては気を付けて細部まで確認をしておりましたが、記載ミス等があったことをこの場をお借りしましたお詫び申し上げます。

今期MC・地区誌編集委員長を1年間務めさせて頂きましたが、振り返ってみるとなかなか体験できない事をさせて頂きました。

今後、この経験を活かしこれからのライオンズクラブの活動に繋げて行こうと思います。

1年間本当にありがとうございました。



青少年・LCIF・

ライオンズクエスト委員会

委員長

宮内 利弘 (高松紫雲)

『常に勉強そして感謝』

昨年の4月29日に開催されたキャビネットでの次期地区RC・ZC・地区委員オリエンテーションから私の青少年・LCIF・ライオンズクエスト委員長活動が始まりました。

「井の中の蛙」になってはいけないうと、高松キャビネットでの委員長を引き受けましたが、青少年活動・LCIF献金・ライオンズクエストの普及活動などと盛りだくさんの委員会、不安が一杯でのスタートでした。

こんな委員長職も高松キャビネットの温かい雰囲気と委員会各地区

委員の方々と顔を合わすたびに楽しいキャビネット活動に変わって行きました。

委員会活動としては、LCIF/\$100キャンペーン・国際平和ポスター選考・アワード選考など地区委員のメンバーとともに考え実行して行きました。

そして何といても力を入れたのは委員会活動の集大成でもある、地区年次大会第三分科会での報告発表でした。担当するにあたって地区委員からの各リジョンでの青少年活動の熱い想いを報告してもらい、発表クラブを選定しました。

あつという間の1年でしたが、自分としては蔵本ガバナーからのキーワード「OVERCOME」出来たかなと思っております。今回のキャビネットでの活動をともにしていただいた委員会の地区委員のメンバー、そして高松キャビネットのみな様には深く感謝いたします。



環境保全・保健福祉・
アラート委員会

委員長

朝田 雪香 (志度)

退任にあたり

一年間にわたり委員長として、皆様には大変お世話になりました。未熟な点や至らない点が、多々あったであろうことは自覚しております。ご迷惑をおかけしてしまったこともあったかと思いますが、こうして無事に委員長の任期を完了させられましたのは、皆様のご協力があればこそであったと実感しております。心より御礼申し上げます。皆様のやさしい心遣いや、さりげない配慮をいただき、また、暖かいサポートをいただくことで無事に乗り越えることができました。有難うございました。



た。実際に就任してみますと、その大変さも、ありがたみも、本当によく分かり、充実した時間を過ごすことができました。委員長として活動をしてこられましたことは、私にとって、大変に貴重な経験になりました。ライオンズクラブ We Saab の精神が、地域づくりに役立っていることを実感できた一年間でした。

また新しい委員長のもとで、これからも奉仕活動は続いてまいります。

これからは一年間の経験を活かしながら、より一層、命を守る奉仕活動、暮らしやすい地域づくりを目指したいと思っております。これからもご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。



YCE・ライオンズレオ
国際関係委員会

委員長

香川 洋二 (高松)

退任にあたり

「光陰矢の如し」昨年7月スタートした蔵本キャビネット。YCE国際関係ライオンズレオ地区委員長を拝命したものの暗中模索。最初の取り組みは情報共有。

「line group」構築。

YCE活動としては、デーキャンプを計画すれどコロナ禍蔓延で中止。

代替として地区在住の海外若人と zoom を介しての茶話会。

お国自慢に大爆笑。

地区年次大会第二分科会では二見

4R地区委員が動画等で発表。無事終了しホッとす。
分科会では高岡、松前、西園寺各地区名誉顧問並びに、また、ご協力いただいた会員の皆さまに感謝し、次年度YCE活動が活性することを祈念する。





DXチーム

委員長

古川 健造
(高松)

紺屋の白袴、ながら
「終わり良ければ総て良し」

- ① デジタルを推進する集まりなのにやりとりはメール。
 - ② ZOOM会議を開催することはなかった。
 - ③ LINEグループすら形成せずと言う具合にほとんどアナログで推移してしまったりリーダーでした。
- また当初から「そのうちキャビネットからチームに対して何らかの指示が出るであろう」と主体性に欠けそして各県リジョン担当委員さんの連絡先も数か月認識せず・登録せず。



キャビネット会議はコロナを理由に現地に行くことなくZOOMで済まほとんど手抜きでありました。にもかかわらず分科会ではスムーズな進行で100%成功。

これは全て愛媛の松本さん・高知の泉さん・高松の浦部さん達のスキルがすべてでした。打ち合わせなどほとんどやつてなく、当日の現場で少しお話しした程度でした委員さんに実力のある方々がいらつしやるということはいは強いですね(あとになってわかりました)が・・・

「頭がフラフラしていても手足がしっかりしておけばうまいこといくもんや」と今になって感心しております、今日このごろです。



第68回 地区年次大会

大会委員長

山下 和彦
(高松栗林)

地区年次大会委員長を
振り返って

今期はスタッフに恵まれ、実に楽しく二年間準備に携われました。

中でも大会事務局長と次長に恵まれたことは私にとって最高の喜びとなりました。

統括副委員長の決定には何度も再考を要しましたが、今回選ばれた三名はその特質を遺憾なく発揮して頂くことができ、これが大成功の礎になったと考えています。

発足当初はスタッフから副委員長・部会長・部会への伝達方法に難点が

あり、出遅れた感がありましたが、ラスト三か月は毎週集まり細部に渡って議論しながら時折激論を交わすこともありましたがライオンズの友愛と相互理解の精神を皆様が忠実に履行していただいたことが当日の活気ある大会への道筋に繋がりました。

この二年間陣頭指揮を執ってまいりましたがお茶会・オプショナルツアー・桜馬場での事業・パレードなど欲張りすぎて皆様には大変なご負担をかけてしまった事をお詫びしなければなりません。会場が駅周辺に固まっていることからJR四国パックスも試みましたが、お酒を飲みながら帰れる、を歌い文句にしたため、高知の方々、松山宇和島方面の方々に好評でしたが、車での往復が大半でありました事は地区大会が地方ではそうならざるを得ないのかもしれない。



『ヘアドネーション活動』を通して我々が出来る事

今治くるしまライオンズクラブ

ヘアドネーション特別委員会 委員長 **海野尾 良枝**

仲間の熱い想いを知ったクラブ会員

臨んでいます。

たちの承認を得て、2020年10月にヘアドネーション特別委員会を設置し、活動が始まりました。

賛同戴いたヘアサロンには対応をスムーズにする為に(髪をいれる保存袋・当クラブ独自のドナースhirt・アンケート用紙)5set入りのケースバッグをお渡ししています。

2022年4月末現在、217名のヘアドネーション、36のヘアサロンの賛同を得ています。ここに至るまでの委員会の準備として、クラブ独自の両面パンフレット、感謝状、記念品、活動の意義や作業工程と流れを詳しく説明したパンフレット帳、当クラブ独自のドナースhirt、アンケート用紙2種類を作成し、活動の理解をしていただく為にライオンズクラブ事業との関わりについて説明する事を丁寧に行っています。

『回答されたアンケート』は整理の為に当クラブへの関心度アップの参考資料の一つとなります。『感謝状等の贈呈』に於いても、例会にご招待など丁寧に対応します。クラブ内の他の奉仕活動に於いても呼び掛けをしていて交流の幅が広がり新聞、地域情報誌等メディアにも掲載され我々の社会奉仕は進みます。

活動を広げる第一歩として、クラブ会員に熟知を求めると共に、美容組合・課外活動従事者に協力を得てのパンフレット配布、小中学校の校長会でのプレゼン、そしてヘアサロン様からの問い合わせ等、ヘアドネーションされる方々とヘアサロンとを『繋ぐ活動』に全力で

今年度、国際協会GAT(FWT部門)個人感謝状、FWT賞クラブ優秀賞、一般表彰ヘアサロン4店を戴きました。この事は会員全ての励みとなり、力強い応援と受け止めています。委員会が立ち上がってから、一人ひとり伝える大切さを感じると共に、感謝の心も大きなものとなっています。

小さな社会貢献、それは全ての皆様にエピソードがあり、ファイルされたアンケート帳を目にすると色々蘇ってきます。一人では出来ないこの活動は、永遠に必要とされる心のこもった笑顔たつぷりの素敵なプレゼントの奉仕活動です。

スペシャルティークラブ・FWTの奉仕活動目標に掲げられているヘアドネーション活動。このプロジェクトは、私達の大きな支えとなっています。ここに強く感謝申し上げます。



九島周回道路、海岸清掃作業

宇和島ライオンズクラブ

環境保全・保健福祉・アラート 委員長 **山瀬 忠弘**

4月9日午後から、九島地区の道路の清掃作業と海岸漂着ゴミの回収作業を実施しました。

当日、宇和島ライオンズクラブ19名が参加して頂きました。

九島は、架橋後6年目を迎え、観光はもとより、釣り、ジョギングなどで多くの皆様が訪れるようになりました。道路上のゴミは、簡単に回収できますが、海岸漂着ゴミの回収は時間もかかり困難なものとなりました。

海洋ゴミは、ビニール袋やペットボトル、発砲スチロール、さらに漁業関係者の網、真珠のブイ、養殖いけすに使用される発砲スチロールなどが中心で投棄されたものだと思います。宇和島の海岸線の漂着ゴミ、特にマイクロプラスチック問題は、重要な課題です。

回収後の一時保管場所、処理方法、処理費用においてはかなりの金額となります。これから解決していかねばならないことが多くあります。SDGsの考え方もふまえて、循環型社会

の形成のために、海の環境整備、プラスチックの再エネルギー化ができないものか？と考えています。

清掃活動中にも多くの方々からお声かけて頂き感謝申し上げます。

この活動を通じ少しでも多くの方々が、環境問題に興味を持って頂ければ幸いです。参加頂いた会員の皆様、本当にお疲れ様でした。



徳島駅前「LED観光客歓迎塔」を設置 ～徳島眉山LC60周年記念事業～

徳島眉山ライオンズクラブ 会長 中川 靖治

徳島眉山ライオンズクラブでは、結成60周年記念の特別奉仕事業の1つとして、1973年に当クラブがJR徳島駅前建造した観光客歓迎塔に続き、「未来に向けて発展する徳島の一助となりたい」との思いから、2塔目として、「LED」を全面的に使用した県・市の玄関口にふさわしい「LED観光客歓迎塔」を、徳島駅前ロータリーの南側に新たに設置しました。県民はもとより徳島市を訪れる国内外からの観光客に向け、阿波おどりの本場である徳島市をアピールし、おもてなしするシンボルコミュニケーションとなっています。

3月12日午後6時30分より、駅前アミコビル2階アミコドームで飯泉嘉門徳島県知事と内藤佐和子徳島市長をお招きして歓迎塔の点灯式を行い、その場で徳島市に寄贈して、内藤市長から感謝状をいただきました。

歓迎塔は直方体(高さ4メートル、



底面1.5メートル四方)で、徳島を表する藍色の背景に、男踊りや女踊りなど躍動感あふれる阿波おどりをイメージしたシルエットを4面に描き、それぞれ3カ国語(日本語、英語、中国語)で「ようこそ徳島へ」と表示しています。日没から午前0時まで、LEDの七色の光でライトアップされており、ひご覧いただきたいと思えます。

声を合わせて「ダメ、ゼッタイ」

～高知県立大学 薬物乱用防止啓発サークル「ダメ、ゼッタイ」を訪ねて～

6R・RC 藤戸 啓朗

先日開会されました第68回地区年次大会において、高知桜ライオンズクラブの推薦により、地区ガバナードのノンライオンの功績(奉仕活動)の部門で、高知県立

大学 薬物乱用防止啓発サークル「ダメ、ゼッタイ」が表彰を受けました。今回は、その表彰状をお渡しするとともに、これまでのお礼と今後の引き続きの支援のお願いをするために、高知桜ライオンズクラブの坂本幹事さんとともに、高知県立大学を訪ねました。

出迎えていただいたのは、廣瀬香乃さんと河本碧さんのお二人で、サークルの歴史やこれまでの活動内容、今後の意気込みなどをお聞きすることができました。

この「ダメ、ゼッタイ」サークルは、2012年の発足以来10年にわたり、高知県下のライオンズクラブの薬物乱用防止セミナーにおいて講師をしていただき、多い年には5～6校の学校へきていただきました。セミナーの中で、子どもたちと声を合わせて「ダメ、ゼッタイ」というのが、すっかりおなじみになりましたね。そうした活動が認められ、学内でも、ほぼ毎年「学長賞」の表彰を受け

ておられます。しかし、この2年ほどは、コロナの影響で

十分な活動ができなかったと、悔やんでおられました。今後は積極的に高知県下の学校での薬物乱用防止セミナーに赴きたいと意欲十分なお二人です。

セミナーを開催するライオンズクラブ側としても、おじさんが薬物はダメというより、年齢の近いおねえさん、おにいさんが話してくれる方が効果たつぷり。ぜひ、今後とも一層の支援をと、お願いしました。

高知県内のクラブで薬物乱用防止セミナーを計画しているクラブがありましたら、高知桜ライオンズクラブを通じて、高知県立大学 薬物乱用防止啓発サークル「ダメ、ゼッタイ」に早めにご相談してみてください。



左が廣瀬さん、真ん中が河本さん

骨髄バンクに感謝

8 R・1 Z C 圃山 登

悪性リンパ腫と診断され十六年が経過しています。十年程は、抗癌剤治療と放射線治療、サルベージ治療を行い、60才を迎え再発を繰り返し抗癌剤の耐性が出来たのか、再発の間隔が短くなつて来た時、以前から言われていた骨髄移植の話が現実味を帯びて来ました。

親族には骨髄が適応する者がいなくて、骨髄バンクにお願いするしかなく、迷いましたが、お願いすることになりました。(迷つたのはやはり、他人の骨髄を貰ってまで生きて行く覚悟？移植後の大変さに耐えられるのか等不安だらけでした。)

やっぱり命は欲しかったです。またこの病気になった人が「高齢な自分もチャレンジした」参考になればと決めました。

手続きは徳島赤十字病院で行って頂きました、骨髄バンクのコーディネーターさんにも、お世話になりました。

骨髄バンクに現在は 53 万人が登録

されていますが、当時は42万位だったと思います。

その中から、私に適用できる方は5名いらっしゃいました。コーディネーターさん担当医さんが大変よく調整して頂き、1名の方の提供を受けることが出来ました。

登録から受けるまで約1年かかりましたが非常に幸運だったと思います。周りの努力していただいた方々に感謝しております。

私が受けた移植は、造血幹細胞移植(ミニ移植)と言うものでした。約90日間の無菌室での入院を経て退院出来ました。移植自体は大変ではありません。ドナーさんから献血のように造血



血幹細胞を頂いて来て、輸血の様に自分に入れていきます。2018年1月ブルームーン皆既月食の中、月の女神様の贈り物のように移植を受けれました。実際にドナーさんは女性のようにです。

今、移植から3年以上経過しましたが、まだまだGVHD(拒絶反応の反応)があり、薬が必要です。

今の自分があるのは、骨髄バンクのおかげであり、このシステムを継続・発展させて頂きたいと思っています。







高校生ボランティアの皆様
ありがとうございました!



336-A地区会員現況

抽出期間:2022年1月度~2022年5月度

R	Z	クラブ名	期首	5月末	増減	子会員数
1	1	松山ホスト	37	35	-2	0
		松山東	48	52	4	0
		砥部	56	57	1	14
		松山つばき	64	73	9	46
		松山城山	42	50	8	0
	Z合計	247	267	20	60	
	2	松山道後	57	59	2	0
		伊予	41	43	2	0
		松山西	50	56	6	8
		松前	22	22	0	0
松山北		29	30	1	8	
3	松山湯築	62	65	3	19	
	松山城東	27	25	-2	0	
	Z合計	288	300	12	35	
	北条	20	19	-1	0	
	松山中央	117	114	-3	0	
4	松山南	45	45	0	0	
	松山金亀	57	59	2	5	
	松山白鷺	67	68	1	0	
	松山センチュリー	40	38	-2	4	
	Z合計	346	343	-3	9	
R合計	881	910	29	104		
2	1	新居浜	61	61	0	2
		新居浜中央	12	11	-1	0
		新居浜別子	29	32	3	2
		新居浜ひうち	45	52	7	0
		Z合計	147	156	9	4
	2	今治	57	60	3	8
		今治中央	47	47	0	0
		今治東	42	42	0	2
		今治くるしま	41	38	-3	1
		Z合計	187	187	0	11
3	伊予三島	39	41	2	2	
	川之江	48	44	-4	14	
	伊予土居	50	50	0	22	
	四国中央法皇	32	32	0	2	
	川之江中央	18	17	-1	0	
Z合計	187	184	-3	40		
4	西条	67	70	3	24	
	東予	52	52	0	12	
	伊予小松	13	13	0	0	
	西条石鎧	44	44	0	14	
	Z合計	176	179	3	50	
R合計	697	706	9	105		
3	1	大洲	42	41	-1	0
		宇和	46	42	-4	7
		内子	51	48	-3	18
		野村	16	16	0	1
		Z合計	155	147	-8	26
	2	八幡浜	37	35	-2	0
		三瓶	14	14	0	1
		伊方	34	38	4	0
		保内	15	15	0	0
		八幡浜みなと	43	41	-2	0
Z合計	143	143	0	1		
3	宇和島	34	32	-2	2	
	伊予吉田	20	20	0	0	
	南宇和	34	35	1	5	
	鬼北	37	38	1	9	
	Z合計	125	125	0	16	
R合計	423	415	-8	43		

R	Z	クラブ名	期首	5月末	増減	子会員数
4	1	高松	34	33	-1	0
		小豆島	44	42	-2	7
		小豆島東	29	28	-1	1
		高松葵	34	37	3	10
		高松南	22	20	-2	7
	2	高松フェニックス	27	21	-6	4
		Z小計	190	181	-9	29
		高松東	45	47	2	9
		高松西	55	47	-8	11
		直島	25	25	0	0
3	八栗	30	30	0	10	
	高松源平	31	31	0	7	
	Z小計	186	180	-6	37	
	東かがわ	40	39	-1	14	
	長尾	34	32	-2	0	
4	志度	22	46	24	4	
	三木さぬき	51	51	0	24	
	高松グリーン	17	16	-1	0	
	Z小計	164	184	20	42	
	高松玉藻	10	14	4	5	
5	高松栗林	43	41	-2	2	
	高松屋島	40	35	-5	9	
	高松紫雲	59	59	0	16	
	高松空港	25	26	1	0	
	高松北	34	31	-3	5	
Z小計	211	206	-5	37		
R合計	751	751	0	145		
5	1	丸亀	99	96	-3	0
		坂出	40	38	-2	4
		坂出白峰	128	129	1	70
		綾歌郡	19	21	2	5
		丸亀京極	64	69	5	24
	2	うたづ	38	34	-4	4
		坂出シニア	48	44	-4	10
		Z小計	436	431	-5	117
		観音寺	45	45	0	0
		善通寺	42	38	-4	3
3	多度津	61	63	2	21	
	三豊	46	46	0	0	
	こんぴら	50	47	-3	25	
	観音寺中央	23	23	0	0	
	Z小計	267	262	-5	49	
R合計	703	693	-10	166		
6	1	高知	68	77	9	8
		高知柏	58	58	0	16
		高知東	45	45	0	14
		高知北	37	35	-2	10
		高知桜	37	37	0	10
	2	高知とさみずき	22		-22	0
		Z小計	267	252	-15	58
		須崎	26	24	-2	0
		土佐	45	45	0	0
		伊野	30	30	0	7
3	佐川越知	20	19	-1	4	
	中土佐	21	21	0	0	
	Z小計	142	139	-3	11	
	四万十	57	58	1	11	
	土佐清水	40	37	-3	4	
4	宿毛	20	19	-1	0	
	大方	23	23	0	3	
	大正	14	15	1	2	
	Z小計	154	152	-2	20	
	R合計	563	543	-20	89	

R	Z	クラブ名	期首	5月末	増減	子会員数	
7	1	高知鷹城	53	52	-1	10	
		室戸	30	28	-2	4	
		南国	30	28	-2	1	
		土佐香南	37	34	-3	11	
		高知鏡川	33	33	0	3	
	2	Z小計	183	175	-8	29	
		高知黒潮	69	67	-2	0	
		土佐山田	9	9	0	2	
		土佐本山	30	28	-2	6	
		高知南	34	30	-4	0	
3	高知よさこい	43	43	0	13		
	Z小計	185	177	-8	21		
	高知桂	40	36	-4	2		
	高知中央	60	57	-3	19		
	高知安芸	42	40	-2	4		
8	高知りょうま	63	62	-1	21		
	Z小計	205	195	-10	46		
	R合計	573	547	-26	96		
	8	1	徳島	13	10	-3	0
			小松島	28	27	-1	12
阿南			48	51	3	15	
徳島南			12	12	0	3	
阿波勝浦			25	24	-1	2	
2		徳島マリンピア	36	36	0	0	
		徳島すだち	72	74	2	0	
		Z小計	234	234	0	32	
		徳島中央	18	16	-2	0	
		石井	19	20	1	6	
9	徳島城山	49	45	-4	18		
	上板	32	30	-2	0		
	徳島吉野川	36	36	0	0		
	土成	30	31	1	0		
	徳島やまもも	30	30	0	6		
Z小計	214	208	-6	30			
R合計	448	442	-6	62			
9	1	徳島眉山	27	27	0	0	
		鳴門	38	39	1	0	
		藍住	35	33	-2	0	
		板野	31	32	1	0	
		鳴門西	17	18	1	0	
	2	北島	41	46	5	0	
		Z小計	189	195	6	0	
		阿波池田	26	25	-1	0	
		脇	41	41	0	4	
		鴨島	30	32	2	6	
3	阿波	18	16	-2	0		
	神山	13	13	0	0		
	徳島藍	32	30	-2	6		
	Z小計	160	157	-3	16		
	R合計	349	352	3	16		
地区合計	5414	5347	-67	826			

* 6月1日時点でのServannaAでの月別会員数となります。
 ServannaAと国際協会のMyLCIとは切断されているため情報の反映に時差が生じています。



物故会員

①氏名・享年 ②LC名 ③没年月日 令和4年6月14日現在で、ご確認できる方を掲載しています。※報告書に準じています。

慎んでお悔やみ申し上げます



①岡 純子(71歳)
②3R-1Z内子
③2022年4月11日



①津谷 陽一(74歳)
②5R-1Zうたづ
③2022年4月23日



①吉良 定喜(93歳)
②6R-2Z伊野
③2022年4月30日



①綾田 福雄(75歳)
②4R-1Z高松南
③2022年5月9日



①宮内 浩四郎(91歳)
②1R-2Z松山西
③2022年5月18日



①井上 晋作(83歳)
②3R-1Z宇和
③2022年5月21日



①土岐 和美(83歳)
②2R-1Z新居浜ひうち
③2022年5月31日



第69回地区年次大会開催のご案内



ライオンズクラブ国際協会336-A地区 **第69回地区年次大会 徳島大会**

日時／2023年4月22日(土)・23日(日)

会場／吉野川市民プラザ

ガバナーズローガン：感謝を込めてウィサーブ

ガバナーキーワード：不易流行



2021～2022年
ライオンズクラブ国際協会
336-A地区 高松キャビネット事務局

We Serve

〒761-0104 香川県高松市高松町 2412-10
カーザ・シェイロ・ジ・アムール 1-D
TEL 087-802-9192 FAX 087-802-9195
E-mail:takamatsu2021@lci336a.org

第118号 No.4 ・発行日/令和4年6月25日・発行所/336-A地区高松キャビネット・発行人/安戸照清
・企画編集/MC・ライオンズ情報・地区誌・大会参加委員会・印刷/(株)プリンツエーディー